

みなみ

第19号

公益財団法人大牟田医療協会
南大牟田病院・南大牟田クリニック
大牟田市臼井町 23-1、11-6
TEL.0944-57-2000、57-3300

地域で安心して暮らすために⑤

当法人は地域の方々が、可能な限り住み慣れた生活の場において、必要な医療・介護サービスを受けることのできる環境を整備し、安心して自分らしい生活が実現できる社会づくりに貢献することを目的としております。

退院された通院困難な患者さんをはじめとして、住みなれた家や施設で過ごしながらかの病気の治療や療養をしたいと希望される方が多いと思います。今回は訪問診療について紹介致します。

訪問診療

体が弱り寝たきりになった方や治療効果が望めない場合と言われた場合、皆さんは、人生の最期を、何処で迎えたいと思いますか。

自分としては家で療養したいけど家族に迷惑がかかるので…と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、本心としては病院よりも住み慣れた自宅で家族とともに限られた時間を過ごし、自然な最期を迎えたいと思うのが人間の常ではないかと思ひます。

そういった、住み慣れた自宅で療養したい、療養させたい、最期は自宅で・・・と希望される患者さんや家族の想いから在宅医療は始まります。

在宅医療の中で医師が患者さんの居宅（自宅や老人ホーム、グループホーム等）を訪問して行う診療が「訪問診療」や「往診」となります。

では「訪問診療」と「往診」とでは、何が違うのでしょうか？



訪問診療と往診の違いは

「訪問診療」とは、病気や障害があつて、通院困難な患者さんで住み慣れた家で過ごしたいという方が、ご自宅に居ながら医療を受けることが出来る仕組みです。医師がご自宅を定期的に訪問し、診察、治療、薬の処方、療養上の相談、指導等を行います。

「往診」とは、患者さんの急病の求めに応じて（予定されていない）、その都度緊急的に家に伺

って診療を行います。

これに対して、訪問診療は加齢に伴う様々な障害や脳卒中、悪性腫瘍、神経難病などで通院が困難な方に対して、診療のために定期的（たとえば一週間に一回、若しくは二週間に一回等）に訪問を行う点が大きく異なります。もちろん定期訪問を行なっている方の病状が不安定になったときには、緊急訪問を行います。

また、在宅医療における中心的な役割を担う中のひとつとして、「在宅療養支援診療所」があります。「在宅療養支援診療所」は、高齢者ができる限り住み慣れた家庭や地域で療養しながら生活ができるよう、また、身近な人に囲まれて在宅での最期を迎えることも選択できるように、患者に対する24時間管理の窓口として、必要に応じて他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション等との連携を図りつつ、24時間往診及び訪問看護を提供できる体制を構築した上で届出が必要な診療所のことです。

但し、在宅療養支援診療所でないと訪問診療や往診ができないというわけではありません。

問い合わせ先：南大牟田クリニック 0944-57-3300（担当責任者 ^{いけだ}池田）

九州場所で幕下全勝優勝した肥後嵐関が慰問に来てくれました！

患者さんや利用者さんはあまりの大きさにびっくりされていました。



地域交流施設「サロン・すいせん」でのイベントのお知らせ。

「健康体操」

- ・毎週水曜日 午後3：30～午後4：30

「健康推進教室」の今後の予定

- ・毎月第4木曜日 午後3：00～午後4：00

1月22日 介護サービスの利用について

2月26日 AED を使ってみよう！！

3月26日 糖尿病のお話し

参加自由、無料です。多数のご参加をお待ちしております。

詳しくは、☎0944-53-8824（日巻）まで

今年も一年間様々なことがありました。

スポーツ界では、テニスの錦織圭選手の大活躍、女子ゴルフでは15歳の勝みなみ選手の最年少優勝、大相撲では逸ノ城が新入幕で金星、プロ野球では二刀流に挑んでいる大谷翔平選手など多くの選手が活躍し、楽しませてくれた一年でした。

担当：平山 和也

2014. 12